

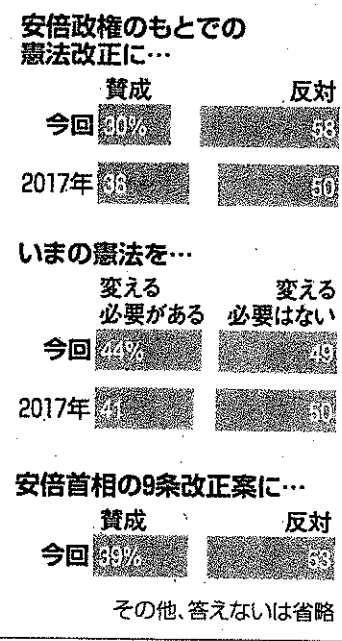
安倍政権で改憲 反対58%

本社世論調査 賛成30%に減

5月3日の憲法記念日を前に、朝日新聞社は憲法を中心に全国世論調査（郵送）を実施した。安倍政権のもとで憲法改正を実現することに「反対」は58%（昨年調査では50%）、「賛成」は30%（同38%）で、昨年調査よりも「反対」が増え、「賛成」が減った。安倍晋三首相が昨年の憲法記念日に打ち出した9条1項、2項を維持して自衛隊の存在を明記する改正案には、「反対」53%が「賛成」39%を上回った。

自衛隊明記案 反対53%

憲法に関する郵送調査は、年1回行っており、今回で6回目。3月中旬から4月下旬にかけて実施した。



安倍政権下の改憲に「反対」が増え、「賛成」が減ったのは、内閣支持率の急落が影響していると考えられる。この調査の内閣支持率は36%（昨年調査では55%）、不支持率は56%（同35%）で、支持と不支持が逆転。調査方法が異なるため数字に差はあるが、朝日新聞社による月1回の全国

世論調査（電話）の内閣支持率も、3月、4月のいずれも31%と低迷している。安倍政権下の改憲への賛否を支持政党別にみると、自民支持層では「賛成」54%に対し、「反対」は35%

。公明支持層では「賛成」40%、「反対」38%と拮抗、無党派層では「賛成」20%を「反対」67%が大きく上回った。安倍首相が9条改正の理由を「自衛隊は憲法も守れないけれども、何かあれば、命を張って守ってくれ」というのはあまりにも無責任」と述べていること

についても尋ねると、この改正理由に「納得できない」55%が「納得できる」の37%を上回った。このほか、いまの憲法を変える必要があるかどうかを質問したところ、「変える必要はない」49%（昨年調査は50%）が「変える必要がある」44%（同41%）を5年連続で上回り、数字も昨年調査とほぼ変わらなかった。9条を変えるほうがよいかどうかについても、「変えないほうがよい」63%（同63%）が「変えるほうがよい」32%（同29%）を上回り、こちらも昨年と比べ、ほぼ横ばいだった。

。公明支持層では「賛成」40%、「反対」38%と拮抗、無党派層では「賛成」20%を「反対」67%が大きく上回った。安倍首相が9条改正の理由を「自衛隊は憲法も守れないけれども、何かあれば、命を張って守ってくれ」というのはあまりにも無責任」と述べていることについても尋ねると、この改正理由に「納得できない」55%が「納得できる」の37%を上回った。このほか、いまの憲法を変える必要があるかどうかを質問したところ、「変える必要はない」49%（昨年調査は50%）が「変える必要がある」44%（同41%）を5年連続で上回り、数字も昨年調査とほぼ変わらなかった。9条を変えるほうがよいかどうかについても、「変えないほうがよい」63%（同63%）が「変えるほうがよい」32%（同29%）を上回り、こちらも昨年と比べ、ほぼ横ばいだった。